

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 加茂信用金庫)

1. 項目	【大項目】 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 【小項目】 (2) 経営改善支援
2. タイトル	営業店および融資部中小企業支援課による中小企業再生支援活動
3. 動機 (経緯)	当金庫は地域金融機関として今まで以上に、中小企業の経営支援に積極的に取り組み、地域との信頼関係の構築と共存を深めるべく、地域密着型金融を通じて、地域経済の活性化に貢献する信用金庫を目指す。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に中小企業取引先への訪問による実態把握を徹底し、相談や要望に積極的に対応し、金融の円滑化を通し経営の改善支援を実施 ・ 中小企業支援課による「経営改善計画書」の進捗状況の管理と、分析結果に基づいた経営指導の実施 ・ 「第二次かもしんきん緊急不況対策支援資金」の創設による支援の実施 ・ 県および市町村制度資金の積極的活用による資金支援の実施 ・ 商工会議所、商工会、各市商工観光課、各種企業組合、商店街組合等との連携強化と、多様なサービスの提供 ・ 取引先企業への経営支援対策として、目利き能力と融資審査能力の向上について継続的に研修等を実施
5. 成果 (効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <p>きめ細かな対応を図ることにより、地域金融機関としての社会的使命を發揮するとともに、取引先との密接なる取引関係が構築された。</p> <p>【当行 (金庫・組合) にとっての成果】</p> <p>「第二次かもしんきん緊急不況対策支援資金」(平成 21 年 8 月 10 日～平成 22 年 3 月 31 日迄) の取扱実績は 12 件、106 百万円であり、「緊急保証制度」を加えた融資として今年度の支援総額は 194 件、1,319 百万円の実績であった。</p>
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>地域の中小企業に関する定性情報や、店舗や役席・渉外職員を活用した密度の高い支援を実施し、融資など一定条件での金融取引にとどまらず、経営改善などの支援態勢を強化し、中小企業と正面で取組み一定の成果を上げることが出来た。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>地道に継続した取組みが不可欠であり、融資部中小企業支援課が中心となり、今後も積極的に取組むこととする。</p>
7. 新規・継続	新規取組み ・ ○継続取組み (開始年度 平成19年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 加茂信用金庫)

1. 項目	<p>【大項目】 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</p> <p>【小項目】 (2) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み</p>
2. タイトル	目利き能力向上と営業体制の強化
3. 動機 (経緯)	地域の中小企業への金融円滑化に積極的に貢献するために、再生・育成支援や地域社会の活性化に向けた取組みが不可欠であり、人材の能力向上に取組むことと、営業基盤における体制の強化・拡充等を含めた体制整備を実施する。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材の育成が不可欠であり、目利き力や分析能力のレベルアップとスキルアップを図るため、全信協や関信協、県信協主催の研修へ職員を派遣 ・ 経験年数、担当職務、職位等を基本とした各種通信講座の受講による能力向上。 ・ 融資部主催の「融資勉強会」および金庫内研修の実施による能力向上 ・ 営業体制の強化を図るために、本店所在地の2店舗において「エリア制」を導入し効率化を図るとともに、きめ細かな顧客サービスの徹底を実施 ・ 地域情報の蓄積と活用により、多様な顧客特性への対応を図るとともに、顧客との信頼関係の構築と強化を実施
5. 成果 (効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <p>役職員による営業活動体制の強化を図ったことにより、きめ細かな経営相談・資金繰り支援等を通じて、取引先企業の経営改善に対する成果が表れている。</p> <p>【当行 (金庫・組合) にとっての成果】</p> <p>人材の育成に取組むことにより、能力向上、スキルアップ等が図られており、より一層の顧客との信頼関係が構築された。</p> <p>平成21年度は全信協、関信協、県信協が主催の研修に延べ17名派遣し、金庫内研修は14回開催し延べ391名が参加、各種通信講座は延べ43名が受講した。</p>
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>地域金融機関としての役割が「資金繰り支援」「営業面の支援」「経営相談」であることを前向きに捉え、営業体制を強化するとともに、金庫独自の制度融資の取扱い開始により地域貢献が図られた。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>人材の育成について今後も強化を図ることが必要であり、研修等を継続的に実施し能力向上に努める。</p>
7. 新規・継続	新規取組み ・ ○継続取組み (開始年度 平成19年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 加茂信用金庫)

1. 項目	【大項目】3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 【小項目】(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供
2. タイトル	商工会議所等との連携を含めた地域社会への貢献強化
3. 動機(経緯)	地域経済活性化については、商工会議所や商工会、各協同組合との連携がより重要であり、地域金融機関として地元企業の支援・育成や、企業再生および創業支援に積極的に取り組む。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元商工会議所、各種共同組合等との連携強化を図り、地元企業の支援・育成を積極的に推進 ・ 「かもしんきん大関倶楽部」(事業後継者に対する育成活動であり上限年齢45歳迄を対象)において、定期的に企業視察活動、講演会実施、企業経営分析、異業種交流等を通じて、地元若手経営者の育成や地元企業支援を図った ・ 環境・福祉支援の一環として「エコ・介護資金“快適一番”」(融資金額1,000万円以内、期間8年以内、金利は長期プライムレートより0.2%優遇)の商品を発売 ・ 毎年恒例の全店の総代と各地区後援会役員との「地区懇談会」を実施しており、経営状況報告や情報交換を行い、より一層の信頼関係の構築を図った
5. 成果(効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <p>各種団体、組合等との連携強化、そして人的交流、環境・福祉支援等により、地域社会への貢献が図られている。</p> <p>【当行(金庫・組合)にとっての成果】</p> <p>環境・福祉支援の一環として「エコ・介護資金“快適一番”」の新商品を発売し、融資支援実績は20件36百万円の実績となった。</p>
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>利用者が適正な評価・判断を行うための情報として、ディスクロージャー誌、当金庫ホームページに公表している。</p> <p>従前から地域密着型金融の取組みを積極的に行っており、利用者からは当金庫の姿勢が理解されていると判断する。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>地域に貢献できるサービスの継続的提供が今後も重要になっており、地域が必要とするサービスの提供を心掛ける。</p>
7. 新規・継続	新規取組み ・ ○継続取組み (開始年度 平成19年度)
8. 添付資料	
9. 備考	